

臨床透析 ● 総目次

第 35 卷

Vol.35 No.1~No.13

(2019 年 1 月号~12 月号)

● 特 集

《特集一覧》

- | | | | |
|-------|----------------------------------|-------|------------------------------------|
| 1 月号 | 透析患者の糖尿病管理の新展開 | 8 月号 | 標準血液透析を再考する
— 最良の透析処方・管理技術とは |
| 2 月号 | 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常
— 透析液を含めて | 9 月号 | 在宅血液透析の勧め
— 円滑導入のためのノウハウ |
| 3 月号 | 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする | 10 月号 | その人らしい生活を支える透析看護 |
| 4 月号 | 透析患者の残腎機能 | 11 月号 | 透析患者の支持療法 |
| 5 月号 | 透析医工学の最前線 | 12 月号 | ・ 長期にわたる停電・断水への対策
— 大型台風による広域災害 |
| 6 月号 | AKI 診療のエビデンスと課題 | | ・ 透析生活をサポートする
— 各職種ができることと限界 |
| 6 増刊号 | CKD 患者におけるがん化学療法
— 透析患者を中心に | | |
| 7 月号 | 既存のガイドラインを透析患者にどう活用
するか | | |

■ 1 月号 (vol.35 no.1) 透析患者の糖尿病管理の新展開

- | | | | | | |
|---------------------------------|-------------|-------|---|----------------------|---------|
| 1. 透析療法の問題点・注意点—血液透析 | 花井 豪・馬場園哲也 | 7~12 | (2) 神経障害 | 中村 二郎・姫野 龍仁
神谷 英紀 | 63~69 |
| 2. 透析療法の問題点・注意点—腹膜透析 | 丸山 之雄・中山 昌明 | 13~17 | (3) 大血管合併症 | | |
| 3. 療養指導 | | | a. スクリーニング | 岩崎 昌樹・長谷 弘記 | 71~75 |
| (1) 食事療法 | 川畑 奈緒 | 19~24 | b. 管 理 | 熊田 佳孝 | 76~79 |
| (2) 運動療法 | 松沢 良太・松永 篤彦 | 25~31 | c. 脳血管疾患 | 冷牟田浩人・鶴屋 和彦 | 80~86 |
| 4. Burnt-out diabetes (燃え尽き糖尿病) | 阿部 雅紀 | 33~38 | (4) 認 知 症 | 大村 卓也・田村 嘉章
荒木 厚 | 87~94 |
| 5. 血糖モニタリング | 船越 哲 | 39~43 | (5) (糖尿病合併症としての) 歯周病
— 糖尿病透析患者における歯周
病の治療, 予防, 対策 | 稲垣 幸司 | 95~102 |
| 6. 薬物療法 | 森 克仁・稲葉 雅章 | 45~50 | (6) 糖尿病胃腸症 | 有村 愛子・出口 尚寿
西尾 善彦 | 103~107 |
| 7. インスリン療法 | 田中 伸枝 | 51~55 | (7) 末梢動脈疾患 | | |
| 8. 合 併 症 | | | a. どう防ぐかとその対応 | 日高 寿美・小林 修三 | 109~115 |
| (1) 眼 障 害—最近の眼障害の傾向
と対策 | 北野 滋彦 | 57~62 | b. 治療法 | 児玉 章朗・古森 公浩 | 116~120 |
| | | | c. フットケアのあり方 | | |

■ 2月号 (vol.35 no.2) 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常—透析液を含めて

1. 透析患者における電解質の調整
神山 貴弘・花房 規男 135～141
2. 腎臓における電解質・酸塩基平衡の調節
太田 樹 143～150
3. 血液透析液濃度の歴史と今後の課題
峰島三千男 151～156
4. 腹膜透析液の進歩と透析液の選択
水野 正司・伊藤 恭彦 157～164
5. 透析液の適正なナトリウム濃度とは—低ナトリウム透析液を勧める立場から
花房 規男 165～171
6. 透析液の適正なナトリウム濃度とは—高ナトリウム透析液を勧める立場から
大河原 晋・田部井 薫 173～178
7. カリウム異常の心臓に与える影響
常喜 信彦・松金 愛 179～184
8. 透析液のカルシウム濃度はどのように選択するか
濱野 直人・駒場 大峰 185～190
9. 高リン血症のマネジメント
谷口 正智 191～197
10. 透析患者において適正な血清マグネシウム濃度とは
坂口 悠介 203～208
11. 透析患者で適正な酸塩基平衡の状態とは
山本 忠司・山川 智之 211～217
12. 無酢酸透析液の今
久野 勉 219～226
13. 長時間血液透析で望まれる透析液の組成
若井 陽希 227～233
14. コンピュータシミュレーションによるカルシウムの心機能に与える影響の検討
濱田 浩幸・山下 明泰 237～242

[コラム]

1. シナカルセット塩酸塩と低カルシウム血症
濱野 直人・駒場 大峰 198～200
2. 減塩調味料の問題点
市川 和子 201～202
3. PPI と低マグネシウム血症
坂口 悠介 209～210
4. 排便コントロールと電解質異常

2・総目次

■ 3月号 (vol.35 no.3) 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする

1. 慢性期看護実践に活用するリフレクション—患者の内省を支える、リフレクティブな実践者としての看護師
東 めぐみ 255～262
2. 透析施設で取り組むリフレクション研修
下山 節子 263～268
3. 実践報告
 - (1) 保存期患者の治療選択支援—腎臓病とともに生きることを支える意思決定支援と看護の専門性
中村 雅美 269～273
 - (2) 保存期患者の治療選択支援—家族と音信不通の患者が腎代替療法を自己決定するまでの支援
井上 智恵 274～279
 - (3) 血液透析患者の看護：導入期看護—患者の不確かな体験に働きかけ透析とともにある身体を捉え直すための支援
石崎 香織 281～285
 - (4) 血液透析患者の看護：導入期看護—個人の持てる力と価値観の共有に基づく療養継続への支援
榊 みのり 286～290
 - (5) 血液透析患者の看護：維持期看護—腎臓リハビリテーションにより透析中の筋痙攣を改善しえた事例
大森 泉 291～295
 - (6) 腹膜透析患者の看護：導入期看護—若年 CKD 患者の腹膜透析導入時の家族調整を含めた看護実践のリフレクション
佐藤 今子・阿部 雅紀 297～302
 - (7) 腹膜透析患者の看護：導入期看護—「妻と二人でやっていく」と他者に支援を求められない患者の事例から
高井 奈美 303～307
 - (8) 腹膜透析+血液透析併用療法患者の看護—患者が抱く自らの身体への気づかいのありように看護師が気づき、関心を向けたことで支援につなげた事例
小川 和美 309～314
 - (9) 後期高齢透析患者の看護—最期に過ごす場所を調整する
米村 朋代 315～319
 - (10) 重度認知症患者の看護—入院後

に重症化した認知症透析患者の看護

- (11) エンド・オブ・ライフケアー透析困難症により維持血液透析を見合わせた事例への支援
麓 真一 321~325
- (12) 家族看護—高齢患者が抱える腎代替療法選択の意思決定支援
八木 哉子 327~331
田中 順也 333~337

■ 4月号 (vol.35 no.4) 透析患者の残腎機能

1. 透析患者の残腎機能とは何か
西 慎一・小松 康宏 359~365
 2. 透析患者の残腎機能測定法
石井 貴子・伊藤 恭彦 367~374
 3. 残腎機能と生命予後・QOL
稲熊 大城 375~381
 4. 残腎機能と臓器障害の関連
鶴屋 和彦 383~391
 5. 残腎機能に関連する生体因子
長岡 由女・菅野 義彦 393~398
 6. 透析 modality と残腎機能
友 雅司 399~404
 7. 血液透析患者の残腎機能維持対策
伊藤 聖学・大河原 晋
田部井 薫 405~410
 8. 腹膜透析患者の残腎機能維持対策
伊藤 雄伍・中山 昌明 411~414
 9. 残腎機能を維持するための生活習慣病管理
斎藤 知栄 415~421
 10. 腎機能と薬物療法—降圧薬・利尿薬が残腎機能に与える影響
鎌田 直博 425~431
- [コラム]
1. 腎移植患者の残腎機能
祖父江 理 422~423
 2. 造影剤と残腎機能
安田 宜成 432~434

■ 5月号 (vol.35 no.5) 透析医工学の最前線

Editorial

- 透析医療技術の進歩
峰島三千男 459~460
1. 透析医療技術の進歩
 - (1) オンライン HDF の現状と展望
友 雅司 461~465
 - (2) I-HDF の有効性と適応
亀井 大悟・峰島三千男
土谷 健 467~472
 2. 透析関連技術の進歩

- (1) 血液透析装置標準化の必要性
川西 秀樹 473~477
- (2) 透析装置の自動化・省力化の最前線
柴田 昌典 479~486
- (3) 腹膜透析における遠隔医療
小林 広学・安部 功記 487~493
- (4) 透析排液 (透析量) —モニタの有効活用
森實 篤司 495~499
- (5) レーザ血流計の有効活用
江口 圭・峰島三千男 501~508
- (6) 体内水分組成モニタを利用した水分管理
長尾 尋智・神崎 将克
武安美希子・高田 幹彦 509~516
- (7) 求められる透析液のシステム管理—水処理, 水質管理, 排水管理など
内野 順司 517~523
- (8) 透析液成分濃度測定装置の認証制度
小久保謙一・清水 康
村上 淳・山家 敏彦 525~531
- (9) 透析部門システムと電子カルテの連携
深津 博 533~541
- (10) 透析通信共通プロトコル, 何ができて何ができないのか
芝本 隆 545~550

[コラム]

・透析医療におけるビッグデータの可能性

- 福間 真悟 542~543

■ 6月号 (vol.35 no.6) AKI 診療のエビデンスと課題

Editorial

ARF から AKI へ概念がシフトしたこの 15 年間で何が起きたか?

- 加藤 明彦 571~572
1. AKI の疾患概念と診断基準
堀野 太郎・寺田 典生 573~581
 2. AKI の疫学とリスク因子
迫 恵輔・古市 賢吾
和田 隆志 583~590
 3. AKI の早期診断マーカー
松浦 亮・土井 研人 591~596
 4. AKI に対する治療戦略 (血液浄化以外)
後藤 大樹・安田日出夫 597~603
 5. AKI に対する血液浄化療法
塚本 達雄 605~610

6. 急性血液浄化療法における装置の進歩と安全技術	山下 芳久	611～616	6. 分子標的薬ーチロシンキナーゼ阻害薬	水野 隆一・大家 基嗣	782～789
7. 急性血液浄化療法における薬物動態と薬の使い方	山本 武人	617～623	7. 分子標的薬ーmTOR 阻害薬	大前 憲史	790～797
8. AKI 患者における栄養・代謝管理	加藤 明彦	625～634	8. 免疫チェックポイント阻害薬	伊澤 直樹	798～805
9. AKI と CKD のクロストーク	矢野 景子・佐藤 有紀 柳田 素子	635～639	9. サリドマイド・レナリドミド	阿部 有・鈴木 憲史	808～815
10. 小児における AKI と急性血液浄化療法	金森 透・亀井 宏一	641～649	III. がん種から見た抗がん剤の使用法		
11. 高齢者における AKI	守山 敏樹	651～656	1. 肺 が ん	落合 亮介・太田 修二 関 順彦	818～825
12. 急性血液浄化療法施行患者への看護	山本 雅弘・松田 兼一 森口 武史・岡村真由美 山本 智子・谷戸 るみ	657～663	2. 消化管がん	水上 拓郎	826～832
			3. 胆・膵がん	井岡 達也	833～841
			4. 乳 が ん	尾崎由記範	844～852
			5. 泌尿器がん	近藤 千紘	853～862
			6. 婦人科がん	徳山 長裕・松本 光史	863～871
			7. 血液がん	梶 大介	872～876
			IV. がん患者のサポーターズケア		
			1. 有害事象について	中川 俊作・松原 和夫	880～884
			2. 悪心・嘔吐	横溝 綾子・伊澤 直樹	885～893
			3. 便秘・下痢	満生 浩司	894～901
			4. 貧 血	新倉 崇仁・小林 賛光 山本 裕康	902～908
			5. 好中球減少症	竹村 弘司・近藤 千紘 高野 利実	909～915
			6. がん疼痛ー原因病態と薬剤の特徴を考慮した治療戦略	田中 桂子	916～922
			7. 苦痛緩和のための鎮静	池永 昌之	923～930
			8. 呼吸器症状	余宮きのみ	931～938
			9. 輸液・栄養	永井麻梨恵・菅野 義彦	939～945
			10. 腹水コントロール	伊丹 儀友・山下 直哉	946～954
			11. 透析の見合わせ	岡田 一義	955～961
			V. 症例報告		
			1. 〈肺 癌〉透析を行いつつ有効な化学療法を実施した小細胞肺癌の1例		

■ 6月増刊号 (vol.35 no.7) **CKD 患者におけるがん化学療法ー透析患者を中心に**

I. 総 論

1. オンコネフロロジーの時代	比良野圭太・松原 雄 柳田 素子	690～696
2. 透析患者における悪性腫瘍の疫学	中井 滋	697～704
3. 透析患者の悪性腫瘍診断・治療に関わる注意点	松原 雄・柳田 素子	705～710
4. 透析患者のがん薬物療法のリスクとベネフィット	大野 能之	711～716
5. 「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン」について	武藤 智	717～723
6. 透析患者へのがん薬物療法の臨床試験	片岡 滋貴・武藤 学	724～732

II. がん薬物療法の特性

1. 透析患者における薬物動態の基礎	平田 純生	734～743
2. 殺細胞性抗がん剤ー白金製剤	堀之内秀仁	744～751
3. 殺細胞性抗がん剤ー代謝拮抗薬	船越 太郎	752～758
4. 殺細胞性抗がん剤ーその他	勝俣 範之	759～770
5. 分子標的薬ー抗体薬	内野 慶太	771～781

山田有里紗・北川智余恵	964～967	15. 造影剤腎症	猪阪 善隆 1101～1106
2. 〈大腸癌〉維持透析中の大腸癌患者に 対する非透析日 mFOLFOX6 療法の 可能性		■ 8 月号 (vol.35 no.9) 標準血液透析を再考する ― 最良の透析処方・管理技術とは	
村井 太一・中村 路夫	968～973	1. 患者一人ひとりに合わせた血液透析 処方の選択	政金 生人 1121～1126
3. 〈食道癌〉維持透析患者に発症した進 行食道癌の 1 例		2. 透析膜, 血液浄化膜の選択	友 雅司 1127～1132
山中 太郎・近藤 千紘	974～978	3. 透析スケジュールによる影響	喜田 智幸 1133～1137
4. 〈腎 癌〉CKD を有する腎癌にアキ シチニブを長期間投与した 1 例		4. 透析量の評価法	新里 高弘 1139～1144
大木 遼佑・三浦 裕司	979～982	5. ドライウエイトの設定法	小松 康宏 1145～1150
[コラム]		6. 透析液, 補充液の処方	久野 勉 1151～1156
・「がん免疫療法」の問題点	勝俣 範之 806～807	7. 導入期患者への透析処方	後藤 大樹・加藤 明彦 1157～1162
・B 型肝炎ウイルス (HBV) 再活性化	菊地 勘 842～843	8. 高齢者に対する透析処方	原田 孝司・矢野 利幸 高木 伴幸・船越 哲 1163～1168
・がんゲノム医療	林 秀幸 877～878	9. 小児に対する透析処方	伊丹 儀友・山下 直哉 1169～1175
・笑い療法	伊藤 孝史 983～984	10. 透析液清浄化管理技術	小野 信行 1177～1182
■ 7 月号 (vol.35 no.8) 既存のガイドラインを透析 患者にどう活用するか		11. 透析における安全管理技術 ― 体外 循環技術の安全確保	山家 敏彦 1183～1192
1. 慢性心不全	今井 俊介・松原 琢 1001～1004	12. 透析患者のデータ管理技術	石森 勇・村上 淳 1193～1198
2. 急性心筋梗塞	伊苅 裕二 1005～1007	■ 9 月号 (vol.35 no.10) 在宅血液透析の勧め ― 円滑導入のためのノウハウ	
3. 弁 膜 症	藤井 秀毅 1009～1015	1. 在宅血液透析の過去, 現在, 未来	政金 生人 1233～1240
4. 肺 炎	横村 光司 1017～1023	2. 在宅血液透析にどう導入するか	小川 洋史 1241～1248
5. 敗 血 症	土井 研人 1025～1029	3. 啓発活動 ― 在宅血液透析推進チーム	佐藤 泰崇・田賀農 恵 林田 征俊・高木 伴幸 原田 孝司・船越 哲 1249～1255
6. 腎 癌	三宅 秀明 1031～1035	4. 看護師の役割	荒木 陽子・一色 啓二 富田 耕彬 1257～1262
7. 脳 卒 中	鳥谷部真史・下畑 光輝 渡部裕美子・田中 一 1037～1042	5. 水質管理・機器の保守点検	大瀧 和也 1263～1269
8. 高 血 圧	花房 規男 1043～1049	6. 在宅血液透析のバスキュラークセ ス	陣内 彦博・中山 友子 藤井 和真・吉田 智史
9. 糖 尿 病	阿部 雅紀 1051～1057		
10. 肝 炎	菊地 勘 1059～1066		
11. 骨粗鬆症	鈴木 正司 1067～1074		
12. 大腿骨近位部骨折	風間順一郎 1075～1082		
13. サルコペニア・フレイル・protein- energy wasting (PEW)	加藤 明彦 1083～1089		
14. 認 知 症	鶴屋 和彦 1091～1100		

	秋葉 隆	1271～1276
7. 安全性の検証—アンケート調査から	高橋 計行	1277～1282
8. 在宅血液透析における栄養指導と栄養管理	北島 幸枝・若井 陽希	1287～1291
9. 離脱の状況	熊谷 昌樹	1293～1298
10. 医療経済の面から	船越 哲・津久田健太	1299～1303
11. 受益者の立場から		
(1) すべての腎代替療法のなかの在宅血液透析	古藺 勉	1305
(2) 透析を理由に人生を諦めない!	米山 昌幸	1306
(3) 離島での在宅血液透析	小野 千鶴	1307
[コラム]		
1. セキュリティシステムの活用 (セコム社との連携)	若井 陽希	1283～1284
2. Web による患者管理システムの利用方法を考える	池田 潔・岩下 廉史	1285～1286

■ 10月号 (vol.35 no.11) その人らしい生活を支える透析看護

1. 概 論		
(1) その人らしい生き方を支えるための倫理的視点	会田 薫子	1329～1336
(2) 透析患者のその人らしさを支えることの意味	三村 洋美・西村 美里	1337～1342
(3) さまざまな療法選択のあり方と共同意思決定	小松 康宏	1343～1349
2. 担がん透析患者を支えるケア	大賀 由花	1351～1358
[事例 1] がんを合併する患者への看護実践	井本 千秋	1359～1364
3. 高齢の透析患者を支えるケア	水内 恵子	1365～1372
4. 透析治療に困惑する患者の家族を支えるケア	駒田さゆり	1373～1378
[事例 2] 認知症を患う透析患者とその家族への看護実践	森本 麗子・中原 宣子	1379～1386
5. 就労する透析患者を支えるケア—患者を支える仕組みの解説:産業保健		

師の視点から	大島 晴輝・下司 映一 椿 美智博・藤後 秀輔	1387～1394
[事例 3] 透析を受けながら仕事に専念する患者への看護実践	竹田 聡子・壺井 恵子 黒田美津恵	1395～1400
6. 発達段階にある小児の透析患児を支えるケア	内海加奈子	1401～1406
[事例 4] 思春期にある透析患者と家族への看護実践	栗林 佑季	1407～1412

■ 11月号 (vol.35 no.12) 透析患者の支持療法

Editorial

なぜ支持療法が重要なのか?

	加藤 明彦	1441
1. か ゆ み	段野貴一郎	1443～1447
2. 疲 労 感	山田 真介・稲葉 雅章	1449～1455
3. 低血圧症	守矢 英和・小林 修三	1457～1462
4. 睡眠障害, レストレスレッグス症候群, 周期性四肢運動障害	小池 茂文	1463～1468
5. 食欲不振	加藤 明彦	1469～1477
6. 身体機能低下—身体機能低下に対する評価と運動療法	森山 善文・河野 健一 矢部 広樹	1479～1484
7. 認知機能障害	鶴屋 和彦	1485～1494
8. 精神心理的な問題—血液透析患者における大うつ病性障害の支持的精神療法	大内 雄太・西村 勝治	1495～1500
9. 口腔機能低下	吉岡 昌美	1501～1506
10. 社会的な参加	安藤 康宏	1507～1515
11. ポリファーマシー, 潜在的に不適切な処方 (PIMs)	木村 健	1517～1521
12. 感染症予防	原田 孝司・船越 哲	1523～1529
[コラム]		
・新しい便秘薬の使い分け	小向 大輔・宇田 晋	1530～1532

■ 12月号 (vol.35 no.13)

【緊急特集】 長期にわたる停電・断水への対策
—大型台風による広域災害

企画に当たって

- | | | |
|---|-------------|-----------|
| | 加藤 明彦 | 1559～1560 |
| 1. 透析施設のライフライン障害—過去の経験はどう生かすべきか？ | 赤塚東司雄 | 1561～1570 |
| 2. 災害時の情報共有のあり方 | 山川 智之 | 1571～1575 |
| 3. 電子カルテ・患者情報の管理 | 雨宮 守正 | 1577～1580 |
| 4. 透析治療への対応 | | |
| (1) 血液透析—停電への対応 | 森上 辰哉 | 1581～1586 |
| (2) 腹膜透析—備えと特性を活かして | 板井 陽平・副島 秀久 | 1587～1590 |
| (3) 在宅血液透析 (HHD)—HHD も災害も対応は自分で考え自分の身は自分で守る | 坂井 瑠実・宮崎 勇人 | 1591～1596 |
| 5. 2018年10月の台風24号による広域停電から学んだこと | 古谷 隆一 | 1597～1601 |

【特集】 透析生活をサポートする
—各職種ができることと限界

- | | | |
|------------------------|---------------------|-----------|
| 1. 医師の立場から—チームのリーダーとして | 秋葉 隆・中曾 英子
陣内 彦博 | 1605～1608 |
|------------------------|---------------------|-----------|

- | | | |
|---|---|-----------|
| 2. 看護師の視点から—患者が病と生きる方策をとともに考える | 不動寺美紀 | 1609～1614 |
| 3. 臨床工学技士の視点から—治療に関する患者データを有効に共有, 管理する | 芝田 正道 | 1615～1619 |
| 4. 管理栄養士の視点から | | |
| (1) 減塩と体液管理 | 小林 恵 | 1621～1626 |
| (2) 終末期透析患者への食事支援—透析食にこだわらない「食べる楽しみ」 | 田村 智子 | 1627～1632 |
| 5. リハビリテーションに携わるスタッフの視点から—透析患者の生活機能を支える | 清水 弘毅・有元 克彦
小野 由美・井本 洋史
岡本 牧子・西濱 美絵 | 1633～1637 |
| 6. 薬剤師の視点から—服薬アドヒアランスの向上のために | 川名賢一郎 | 1639～1642 |
| 7. MSW の視点から—問題行動を繰り返す患者への多職種での対応事例を通して | 有働 大助 | 1643～1647 |
| 8. 患者の立場から—腎代替療法と就労 | 古蘭 勉 | 1649～1654 |

●OPINION

1月号 (vol.35 no.1)

2019年の編集 Concept—透析医療におけるアートとサイエンス

花房 規男 5～6

2月号 (vol.35 no.2)

医学と医療学

伊東 稔 133～134

3月号 (vol.35 no.3)

患者自身の人生のなかで腎臓病を意味づける—真の個別化医療

古波蔵健太郎 253～254

4月号 (vol.35 no.4)

大丈夫か「Made in Japan」?

竜崎 崇和 357～358

5月号 (vol.35 no.5)

身近な話題

宮本 賢一 457～458

6月号 (vol.35 no.6)

透析医療における2025年問題

倉賀野隆裕 569～570

7月号 (vol.35 no.8)

アジア諸国における透析医療支援

長沼 俊秀 999～1000

8月号 (vol.35 no.9)

俯瞰的視点からのプレイクスルー

古市 賢吾 1119～1120

9月号 (vol.35 no.10)

平成の医療, 令和の医療

丹野 有道 1231～1232

10月号 (vol.35 no.11)

“透析していて, 透析できてよかった”

雑賀 隆史 1327～1328

11月号 (vol.35 no.12)

「安静」が危ない! 1日で2歳も老化する!

上月 正博 1439～1440

12月号 (vol.35 no.13)

在宅透析医療の現在そして行く末

深澤 瑞也 1555～1556

●症例による透析患者の画像診断

3月号 (vol.35 no.3)	血液透析患者に発症した非閉塞性腸管虚血症 (NOMI) の1例 田代 学・川原 和彦 水口 潤	346~349	8月号 (vol.35 no.9)	バスキュラーアクセスカテーテルが左上大静脈遺残に挿入され、血管走行の判断に苦慮した1例 平塩 秀磨・正木 崇生	1209~1213
4月号 (vol.35 no.4)	透析患者にみられた腎細胞癌自然破裂の1例 澁谷 忠正・戸高 雅広 武井 航平・井上 享 平井 健一・秦 聡孝 三股 浩光	445~449	9月号 (vol.35 no.10)	常染色体優性多発性嚢胞腎に肝嚢胞感染を認めた維持透析患者の1例 小熊 秀隆・高島 弘至 大月 伯恭・堀越 周 鄭 立晃・阿部 雅紀	1317~1320
5月号 (vol.35 no.5)	血液透析導入時にリンパ節腫脹と不明熱を呈し診断に苦慮した1例 中島 悠里・小林 聡 井関 景子・田中 佑典 山本 脩人・龍田 浩一 大矢 昌樹・美馬 亨 根本 茂雄・重松 隆	551~554	10月号 (vol.35 no.11)	透析患者に生じた、左臍胸を合併した胸腹部感染性動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を施行し良好な転帰を得た1例 本木麻衣子・園生 智弘 島田 敦・中村 仁美 奈良場 啓・神田 直樹 高橋 雄治・橋本 英樹 中村 謙介・井口 裕介 塚田 亨・松崎 寛二 渡辺 泰徳・植田 敦志	1421~1426
7月号 (vol.35 no.8)	不明熱を呈したがCTガイド下リンパ節生検により腹部リンパ節結核と診断しえた血液透析患者の1例 後藤菜津希・鈴木 梨江 和田 貴彦・高橋 秀幸 宮岡 良卓・長井 美穂 権藤 麻子・長岡 由女 耕野 龍平・菅野 義彦	1107~1112	11月号 (vol.35 no.12)	Klippel-Trenaunay-Weber 症候群に対する血液透析導入を行った1例 平塩 秀磨・中山 慎也 正木 崇生	1543~1548

●ケース・スタディ

3月号 (vol.35 no.3)	発熱・全身関節痛を呈し出血性ショックに至った維持血液透析患者の1症例 持田 泰寛・日高 寿美 小林 修三	338~345	8月号 (vol.35 no.9)	頭痛に続き急性腎障害および肺うっ血をきたした1例 堀本 藍・小川 哲也	1199~1207
4月号 (vol.35 no.4)	肉眼的血尿を伴う急性腎障害の1例 福永 昇平・山内明日香 川西未波留・芦村 龍一 吉金かおり・江川 雅博 伊藤 孝史・椎名 浩昭	437~443	9月号 (vol.35 no.10)	紫斑とネフローゼ症候群を呈した1例 島 久登・土井 俊夫 岡田 一義・水口 潤	1309~1315
5月号 (vol.35 no.5)	急激に進行する腎機能障害に血小板減少を合併した1例 井上めぐみ・黒木 裕介 満生 浩司	555~562	10月号 (vol.35 no.11)	乳酸アシドーシスを呈した急性腎障害の1例 平林 陽介・村田 智博 石川 英二	1413~1420
6月号 (vol.35 no.6)	カフ型カテーテル留置後に発熱を認めた血液透析患者の1例 唐原 靖治・榎 裕子		11月号 (vol.35 no.12)	胆管炎の経過中に、腹痛・下血をきたした血液透析患者の1例 北川 貴之・佐貫 史明	

●研究・報告

2月号 (vol.35 no.2)

〔臨床研究〕SPPを用いたバスキュラー
アクセスの管理—VAIVT群と非VAIVT
群との長期間の比較検討

北浦 圭介・本庄 克代
北川 裕貴・佐野 博之
高見 奈加・竹下幸世美
松本三起子・実広 純子
杉原 由修 243～246

8月号 (vol.35 no.9)

〔症例報告〕大網巻絡に加えて卵管采迷
入によるPDカテーテルの閉塞を認め
た1例

森野 隆広・栗田 梨愛
服部 英明・山田 真規
三上 隆一・山本 満雄
宮本 幹・杉木 雅彦
成山 真一・澁谷 浩司

野口 哲也・澁谷 浩二
中西 健・藤田 嘉一
西岡 正登 1215～1218

〔症例報告〕重篤な心停止後症候群に至
った後も維持血液透析を継続した2症
例

大西 央・小林 高久
今井 利美・永山 泉
川又 睦・若林奈津子
秋元 哲・齋藤 修
武藤 重明・長田 太助 1219～1222

10月号 (vol.35 no.11)

〔臨床研究〕維持血液透析患者の二次性
副甲状腺機能亢進症に対するエボカル
セトの使用経験：シナカルセトから変
更例の検討

西村 真人・澤田 敏子 1427～1432

●研究会報告

4月号 (vol.35 no.4)

第21回 在宅血液透析研究会

一色 啓二 435～436

11月号 (vol.35 no.12)

第29回 日本サイコネフロロジー研究会

前田 国見 1533～1534

本誌の本年1年間の編集委員、編集協力者は以下のとおりです。また、本誌の刊行にあたりご協
力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。 [(株)日本メディカルセンター]

■編集委員

鈴木 正司	原田 孝司	秋葉 隆	伊丹 儀友	小松 康宏	西 慎一
中山 昌明	加藤 明彦	花房 規男	下山 節子	水附 裕子	佐藤 久光
中原 宣子	三村 洋美	市川 和子	齋藤かしこ	峰島三千男	山下 芳久

■編集顧問

川口 良人 浅野 泰 宇田 有希 (敬称略)

■創刊以来ご尽力いただいた歴代編集委員

前田 貞亮 (故人)	黒川 清	佐藤喜一郎	中川成之輔 (故人)	酒井 糾
大平 整爾 (故人)	平澤 由平* (故人)	春木 繁一* (故人)	落合 福江	
吉岡 典	足立 悦子	白井 昭子	安西志保子	川崎 忠行 赤間 立枝

(敬称略, *: 特別編集委員)